

第5節 環境負荷の少ない社会を支える「人づくり・仕組みづくり」

第1款 環境学習・環境活動の推進

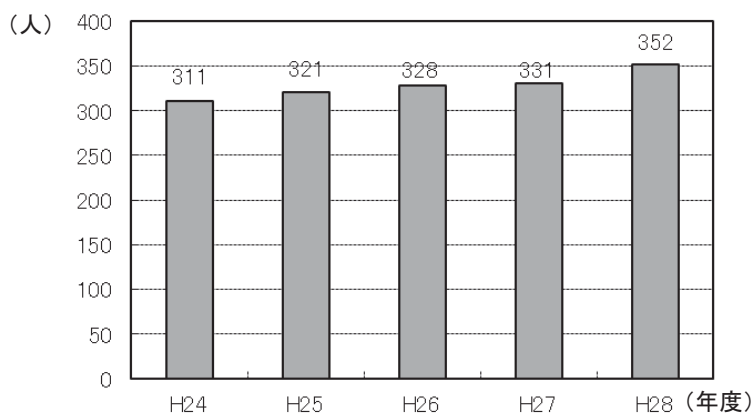
【現状と課題】

社会のあらゆる場において、総合的で実践を伴う環境学習が適切かつ活発になされるよう、学校教育や社会教育での環境学習に関する取組の充実、そのための指導者の育成、拠点整備などを行う必要があります。

平成20年の学習指導要領の改訂でも、「環境教育」を「社会の変化への対応の観点から教科等を横断して改善すべき事項」の一つに掲げています。また、幼児教育の段階から、発達の段階に応じて自然体験活動など体験活動の推進を図り、環境の保全やより良い環境の創造のために主体的に行動する実践的な態度や資質、能力の育成を目指しています。平成25年度公立小・中学校における教育課程の編成・実施状況調査によると、社会や理科などでの学習に加え、総合的な学習の時間での環境をテーマとした学習が、約94%の公立小学校と約37%の公立中学校で実施されています。

県では、教職員を対象にした環境教育研修の実施や教材・プログラムの作成支援・提供を行うなど、学校における環境学習の支援を行うとともに、県民の自主的な環境保全活動に対し、適切な指導、助言を行うことができる「環境保全アドバイザー」¹等を育成しています。

図表 5-1-1 環境保全アドバイザー登録者数



環境保全行動に対する県民の意識は年々高まっているものの、実際の行動にはまだ十分に結びついていない状況にあり、日常における県民の自主的かつ積極的な取組を促進する必要があります。

県では、県民の自主的な環境保全活動を促進し参加機会の拡大を図るため、各地で行われている取組に関する情報提供を行うとともに、地域で緑化活動や美化活動などを行っている団体等の活動支援、環境学習講師の派遣などによる環境保全活動の拡大に向けた支援を行っていますが、今後、一層の充実を図る必要があります。

また、県民一人ひとりが、環境への負荷の少ないライフスタイルのあり方や自然の大切さに対する理解と認識を深めるため、「環境の日」ひろしま大会等を通じた環境保全思想の普及啓発に取り組んでおり、引き続き、様々な機会を通じた普及啓発を推進するとともに、県民が自主的に環境に配慮した生活・行動を選択・実行できるよう、環境保全行動等に関するさまざまな情報を各種媒体によって総合的に提供していく必要があります。

1 環境保全アドバイザー：地域で行われる環境学習や環境保全活動について、助言・指導を行うことができる人材。県が実施または認定する養成講座を修了した者や地球温暖化防止活動推進員のうち、希望者をアドバイザーとして登録し、地域での活動を促している（※県の独自制度で平成6年度から実施）。

【環境の状態等を測る指標・環境施策の成果を示す指標】

指標の区分	指標項目（内容）	単位	基準年度値（H26）	現状値（H28）	目標値（目標年度）	目安※1	指標の達成率	進捗状況
施策	県環境ホームページアクセス件数	千件	898	631	増加を図る（H32）	898	70.3%	未達成
施策	環境学習講師の派遣者数	人/年	10	17		10	170.0%	目標以上達成
施策	環境活動リーダー養成者数（累計）	人	10	85	100（H32）	40	212.5%	目標以上達成
環境	せとうち海援隊認定団体数	団体	32	34	新規認定年1団体以上	34	100.0%	目標どおり達成

※1 目安は、目標値を現状で達成すべき水準に按分した数値

＜未達成の項目の要因と今後の対応方針＞

指標項目（内容）	目標と実績の乖離要因	今後の対応方針
県環境ホームページアクセス件数	内容が環境関連事業者向けの申請等のページが多く、話題性のある情報発信が不足しているため、アクセス件数が減少している。	家庭における省エネ行動促進など、身近なテーマの情報を追加していく等により、県民からのアクセス件数の増加を図る。

1 環境学習と啓発活動の推進

【取組状況】

（1）環境学習の推進

ア 環境学習講師派遣（環境保全活動支援事業） [環境政策課]

学校、自治会等が実施する環境学習会に、県が登録した専門的知識を有する講師を派遣しています。

【平成 28 年度実績・平成 29 年度内容】平成 28 年度は 17 人を派遣。

＜環境学習講師の派遣者数＞

指標項目	H26	H27	H28
派遣者数（人）	10	17	17

イ 県立大学での教育 [大学教育振興担当]

県立広島大学で環境教育に関する科目をカリキュラムに取り入れることにより、環境技術と環境マインドをもった人材の育成に取り組んでいます。1年次の環境科学概論では環境科学科及び生命科学科のほとんどの学生が履修しています。概論の内容は地球環境とその保全及び社会環境（個人・地域社会・日本・世界）の取り組みからなっており、循環型社会を担う教養を身につけることができます。

【平成 28 年度実績】環境問題に対して深い関心と理解を持って積極的に解決に取り組み、環境浄化材料開発分野で活躍できる人材や、自然共生社会・生物多様性の知識を修得することで、環境計画・環境修復などの分野で活躍できる人材の育成を目指し、環境に関する授業科目を開講。また、環境関係の資格支援を行い、E C O 検定の試験に 140 名以上が受験し、132 名が合格した。

【平成 29 年度内容】平成 28 年度に引き続き、環境に関する授業科目を開講し、環境問題に対して深い関心と理解を持って積極的に解決に取り組み、環境浄化材料開発分野で活躍できる人材や、自然共生社会・生物多様性の知識を修得し、環境計画・環境修復などの分野で活躍できる人材を育成。5 年前から外部試験による教育効果の検証に努めており、平成 29 年度の E C O 検定の試験に 130 名程度が受験の見込みである。

ウ 少年少女水産教室の開催支援 [水産課]

小学校高学年を中心に、稚魚の放流など栽培漁業の体験学習を実施し、漁業への理解を深めるとともに、資源の大切さを啓発しています。

【平成 28 年度実績】三原市立三原小学校、幸崎小学校、尾道市立浦崎小学校等で、漁協等が開催した水産教室を計 7 回支援。

【平成 29 年度内容】計 9 回の支援を予定。

エ グリーン・ツーリズムの推進 [就農支援課]

農山漁村地域において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型余暇活動であるグリーン・ツーリズムは、自然環境や資源の大切さを考える機会となるため、その活動を支援しています。

【平成 28 年度実績・平成 29 年度内容】体験施設や宿泊施設の情報をホームページにより提供。

オ 緑化研修及び緑化指導相談 [森林保全課]

県民をはじめボランティア団体や企業の緑化担当者を対象に緑化に必要な知識、技術の研修を行うとともに、県内の小学校を対象に「緑の学校」を開校し、学校に出向いて緑化研修や自然体験学習を行うことで緑化意識の普及啓発を進めています。さらに、みどりについての健康診断や病虫害防除等の緑化相談等を実施し、緑化技術の向上を図っています。

【平成 28 年度実績・平成 29 年度内容】平成 28 年度は緑化研修 57 回、緑の学校 27 回、緑化相談 479 件を実施。

カ 指導指針の提示 [義務教育指導課]

学校における環境教育が適切に実施されるように、広島県教育資料や教育委員会のホームページ等に指導指針を提示しています。

【平成 28 年度実績】「平成 27・28 年度環境のための地球規模の学習及び観測プログラム（グローブ）推進事業」（文部科学省）の指定校である江田島市立切串小学校における取組を支援。また、県内の他の先進事例を教育委員会のホームページに掲載し、学校の取組を紹介。

【平成 29 年度内容】「環境教育指導資料 幼稚園・小学校編」及び「環境教育指導資料 中学校編」（国立教育政策研究所教育課程センター編集）を学校に周知し、持続可能な社会の創り手を育成する観点から総合的な学習の時間等での取組を支援するとともに、県内の他の先進事例を教育委員会のホームページ等で引き続き紹介。

キ 教員研修の推進 [教職員課・義務教育指導課]

児童生徒の発達段階に応じ、地域の特色を活かした学校独自の学習プログラムを創造することができるよう、様々な研修機会をとらえ、教員の環境に関する専門的な知識や技能の向上を図っています。

【平成 28 年度実績・平成 29 年度内容】初任者を対象に、環境教育をテーマとした講座を実施。

ク 自然環境教育支援プログラムの開発・提供 [生涯学習課]

福山少年自然の家では、学校等の自然環境教育を支援・推進し、次代を担う子供たちに、環境の大切さや、かけがえのない生命の営みを学習していくプログラムを開発・提供しています。また、主催事業では、小・中学生を対象とした自然との触れ合いを通して好奇心や感性を育む、参加体験型の事業を実施しています。

【平成 28 年度実績・平成 29 年度内容】これまで開発した自然観察プログラムの活用及び普及を行うとともに、指導者育成・啓発のために教員等を対象とした体験活動指導者研修を実施。

※ 関連事業：せとうち海援隊支援事業（P85）、環境月間行事の実施（P91）

(2) 啓発活動の推進

ア 環境講演会の開催 [環境政策課]

ひろしま地球環境フォーラム²等との共催により、地球環境等に関する講演会を開催しています。

【平成 28 年度実績・平成 29 年度内容】 環境問題やエネルギー等をテーマとした講演会を開催。

イ ひろしま環境賞 [環境政策課]

環境保全活動への意欲を高めるため、地域において先覚的・独創的な環境保全活動に積極的に取り組み、環境にやさしい地域づくりに顕著な功績のあった個人・団体に対し、その功績を称えて表彰しています。

【平成 28 年度実績】

〈受賞者〉

- 広島県立加計高等学校（安芸太田町）
- 榎本 聰（庄原市）
- 三谷 哲也（福山市）

【平成 29 年度内容】

〈受賞者及び活動内容〉

- 今岡 務（東広島市）

水環境工学・廃棄物工学の専門家として、長年にわたって広島県公害審査会、広島県環境影響評価技術審査会、広島県環境審議会など本県の附属機関の委員を務め、環境施策の推進に貢献したほか、NPO広島循環型社会推進機構理事長として産学連携による広島県発のリサイクル技術の開発や人材育成に尽力。

- 谷山 誠（庄原市）

浄化槽の維持管理業務の適正な実施に向け、業界団体の役員として長年にわたり、行政と連携して様々な分野に取り組み、水環境保全と公衆衛生向上に貢献。

- 江田島市立切串小学校（江田島市）

昭和 57 年に「切串緑の少年団」を結成して以降、古鷹山の学校林において、森の手入れや剪定作業、間伐などの森林保全活動を継続的に行っているほか、ビオトープの観察活動や希少種の保護活動を実施。

- 布野の食と脱温暖化を考える会（三次市）

三次市布野地域において、10年間以上、「食」を切り口に、廃油再利用、省エネ、地元産物料理、植樹等、地域特性を活用した脱温暖化活動を展開。

ウ こどもエコクラブの支援 [環境政策課]

幼児から高校生までのこどもが自主的に環境保全活動を行う「こどもエコクラブ」について、地域環境に関する具体的な取組・活動が展開できるよう、市町の協力を得て、支援情報を提供しています。

【平成 28 年度実績・平成 29 年度内容】平成 28 年度は、53 団体のこどもエコクラブのメンバー1,924 人による活動を実施。平成 29 年度も、こどもエコクラブへの適切な情報提供に努めるなど、活動の活発化を推進。

² ひろしま地球環境フォーラム： 広島県の県民、団体、事業者、行政が相互に連携・協働しながら、環境にやさしい地域づくりを進める環境保全推進組織。

エ 環境月間行事の実施 [環境政策課]

県民の環境保全についての理解・関心や積極的な環境保全活動への意欲を高めるため、6月5日の「環境の日」³及び6月の「環境月間」³を通じて、国、市町、団体等の協力のもと、各種事業を実施しています。

≪「環境の日」ひろしま大会≫

【平成28年度実績・平成29年度内容】

区分	開催日時	開催場所	参加者
平成28年度	平成28年6月5日(日) 10:00~15:30	広島県庁前広場ほか	県民・団体・事業者等
平成29年度	平成29年6月4日(日) 10:00~15:30	広島県庁前広場ほか	県民・団体・事業者等

≪環境月間ポスター≫

子供たちに、ポスターの作成を通して環境への関心と環境保全についての理解・認識を深めてもらうため、環境月間ポスターを募集しています。

【平成28年度実績】応募数：小学生の部418点、中学生の部92点、高校生の部89点。

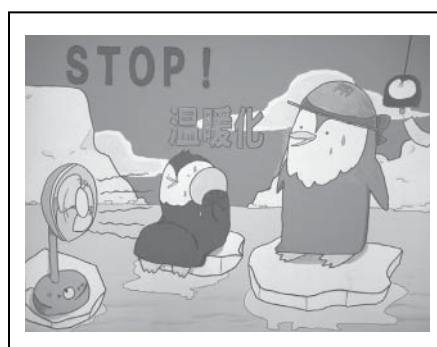
【平成29年度内容】応募数：小学生の部591点、中学生の部145点、高校生の部73点。



小学生の部 特選
「マイカーはお休み」
広島市立可部小学校4年 清水 成実



中学生の部 特選
「もとの場所に 戻りたい。」
如水館中学校3年 沖本 祐受



高校生の部 特選
「STOP! 温暖化」
広島県立賀茂北高等学校2年 横山 紫乃

3 環境の日、環境月間：1972年6月、国連人間環境会議がスウェーデンのストックホルムで開催され、「人間環境宣言」が採択された。国連では、この会議を記念して毎年6月5日を「世界環境デー」としている。我が国では、環境基本法において6月5日を「環境の日」と定め、また6月を「環境月間」として、事業者及び国民の環境保全についての関心と理解を深めるとともに、環境保全に関する活動を積極的に行う意欲を高めるための各種事業を実施している。

オ 「エコひろしま」の運営 [環境保全課]

県民・事業者等による環境配慮への自主的な取組を促進するため、環境情報サイト「エコひろしま」を通じた環境情報の発信を行っています。

【平成28年度実績・平成29年度内容】「エコひろしま」(<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/>)を運営し、迅速で分かりやすい環境情報を発信。

カ 環境学習教材の充実 [環境政策課]

「エコひろしま」を活用し、県民が求める環境学習情報を提供しています。また、貸出用の教材の貸出しをしています。

【平成28年度実績・平成29年度内容】環境学習教材の貸出を実施。

※ 関連事業：県民運動の支援 (P14)、ひろしまの森づくり事業 (P21)

2 自主的な環境活動を行う人づくり・仕組みづくり

【取組状況】

(1) リーダー人材の育成

ア 環境活動モデル市町支援事業 [環境政策課]

環境活動モデル市町(廿日市市、安芸高田市)の人材育成及び協働取組(※)を支援し、市町版モデルケースを創出します。

※県民、民間団体等及び市町が適切に役割分担をしつつ対等の立場において相互に協力して行う環境活動

【平成28年度実績】地域協働リーダーを育成するため、ワークショップとフィールドワークを内容とした広島県環境活動リーダー養成研修を実施。また、環境活動の担い手を育成するため、ひろしま環境大学受講支援事業を実施。さらに、環境活動モデル市町が協働取組を促進する事業に要する経費に対し、活動補助金を交付。

イ 環境学習指導者専門研修 [環境政策課]

児童・生徒等を対象とした環境学習会をより効果的に実施するため、環境教育の実践者や、その支援者等を受講対象とし、里山フィールドによる実践交流会を通して、お互いの経験から学び合い、指導技術を高め合うスキルアップ研修を実施しています。

【平成28年度実績・平成29年度内容】学校や地域において環境教育を実践している・実践しようとしている方等を対象とし、平成28年度は、全3回の研修を実施し21人が受講。

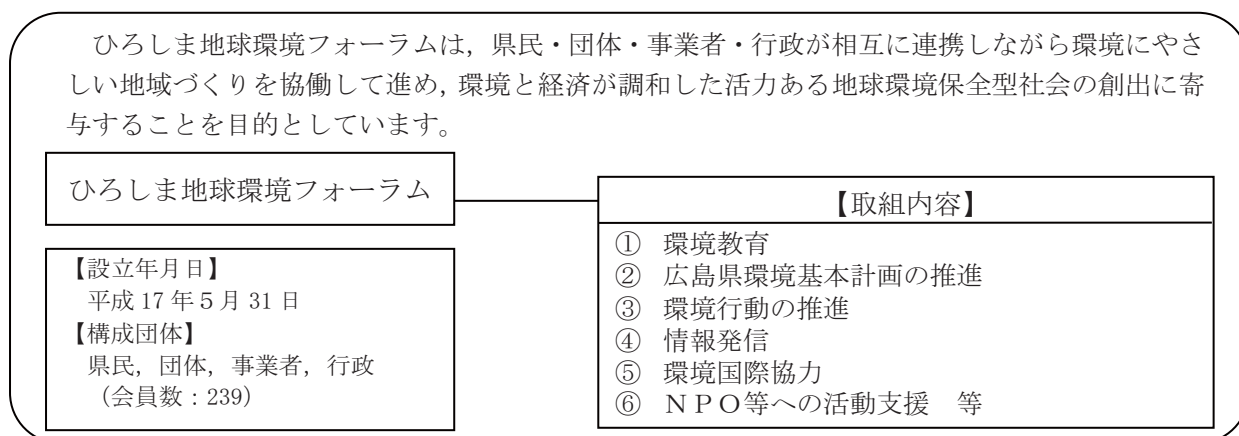
(2) 自主的な環境活動を行う仕組みづくり

ア ひろしま地球環境フォーラムの支援 [環境政策課]

県民、団体、事業者、行政の239会員(平成29年5月末)で組織する「ひろしま地球環境フォーラム」が実施する環境講演会等の環境保全事業に対して、県は事務局として支援しています。

【平成28年度実績・平成29年度内容】事務局として、各種事業の共同実施、情報提供等の活動を支援。

図表 5-1-2 ひろしま地球環境フォーラムの概要



イ 大学間ネットワークの活用 [環境政策課]

大学生と教員が専門的な知識及び行動力を結集し、大学の枠を越えて設立した「大学環境ネットワーク協議会（U E - n e t : ゆいねっと）」による地域における環境保全活動及び環境学習の取組を推進しています。

【平成 28 年度実績・平成 29 年度内容】「大学環境ネットワーク協議会（U E - n e t : ゆいねっと）」による環境イベント等の企画運営や環境学習教材を利用した活動を支援。

ウ ひろしまアダプト活動支援事業（マイロードシステム・ラブリバー制度） [道路河川管理課]

県の管理する道路・河川において、道路や河川敷の清掃，緑化，除草などを行う団体をアダプト活動認定団体（マイロード認定団体・ラブリバー認定団体）として認定し、表示板の設置や保険への加入のほか、活動費の一部を奨励金として交付するなど、その活動を支援しています。

【平成 28 年度実績】マイロード認定団体は、新たに 68（総計 629）の団体を認定し、20,633 人の参加を得て延長 594.6km の道路清掃等を実施。

ラブリバー認定団体は、新たに 20（総計 351）団体を認定し、13,284 人の参加を得て 249.4km の河川清掃等を実施。

【平成 29 年度内容】アダプト活動の拡大・充実を図るため、奨励金交付事業を継続し、団体への積極的な支援を実施。

エ 河川清掃等業務委託事業 [道路河川管理課]

県が管理する河川において、県民の河川愛護意識の普及・向上を図るとともに、良好な河川環境を保持するため、清掃業務等を市町を通じて住民団体に委託し、清掃活動等を行う住民団体を支援しています。

【平成 28 年度実績・平成 29 年度内容】清掃活動等を実施。平成 28 年度は 319 団体で実施。

オ 河川清掃「クリーン太田川」 [道路河川管理課]

太田川流域の河川において、「クリーン太田川実行委員会」の主催により清掃を実施しており、県も河川管理者として積極的に参加し、清掃活動を行う住民団体等を支援しています。

【平成 28 年度実績・平成 29 年度内容】約 20,000 人が参加し、清掃活動を実施。

※ 関連事業：県民運動の支援（P14）、せとうち海援隊支援事業（P85）

4 アダプト活動：アダプトが「養子縁組をする」という趣旨から、住民等が主体となって清掃・草刈等を中心に、公共空間をわが子のように面倒をみていく活動。